

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 古都の森

目標達成計画

作成日: 平成27年3月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	36	入居者様の接遇の見直しを行う必要がある。 指示的になっていたり、上から目線になっていることあり。）	職員全体が常時、思いやりのある言動で、入居者様に接することができるようになる。 (言葉かけ、動作)	再々の言動の確認(管理者を中心に) 入居者様からの聞き取り(職員に知らせ対応を共に考える) ご家族からの苦情(職員に知らせ対応を共に考える) 認知症についての理解(勉強会参加資料配布)	3ヶ月
2	6	「座ってください」など言葉の拘束もあり。また、それについて、よくわかっていない職員もあり。	身体だけでなく、何が拘束になるのか、全職員が知る。	グループ内の拘束委員会への出席を基本とし、勉強の機会を持ち続け、把握する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。